

住宅・ビル・施設Week あす開幕

「住宅・ビル・施設Week」基調講演・特別講演・セミナープログラム

住宅コース						
基調講演	11日	9:40 ～ 12:00	新たな局面を迎えた住宅産業の将来展望			
			住宅・建築分野を巡る諸課題への対応	国土交通省 大臣官房審議官	淡野 博久 氏	
特別講演	11日	15:00～15:45	住宅／建築産業とSDG	建築環境・省エネルギー機構 理事長	村上 周三 氏	
			IoTを活用したスマートウェルネスな住まいと街づくり	大和ハウス工業 総合技術研究所 副所長	広沢 建二 氏	
			住宅リフォーム事業の取組みと戦略	積水ハウス リフォーム事業部長	北村 禎夫 氏	
			ソニーのIoT・スマートホーム事業の将来展望	ソニーネットワークコミュニケーションズ 執行役員	渡辺 潤 氏	
			13日	10:00～10:45	IoT住宅とHONDAが目指すモビリティライフ	本田技術研究所 執行役員
		13:00～13:45	ロングライフZEHの取組みと今後の展望	旭化成ホームズ 理事 技術本部長	勝間 譲二 氏	
ビルコース						
基調講演	12日	10:00～11:30	IoT化が進むスマートビルの最新動向			
			IoTの活用による人を中心としたスマートビルの実現	大成建設 執行役員 技術センター長	長島 一郎 氏	
特別講演	11日	9:40～11:15	最新ITがもたらすスマートビルディングの現在と今後	日本マイクロソフト コーポレート戦略統括本部 業務執行役員	西脇 資哲 氏	
			これからの建築は～ロボットと一緒に作る～	竹中工務店 執行役員 技術本部長	村上 陸太 氏	
			LCVによるビル・施設の価値向上とサステナブル社会の実現	清水建設 常務執行役員 LCV事業本部長	那須原 和良 氏	
			13:00～13:45	IoT・DX時代に進化する最新のビルディングオートメーション～スマートシティ、スマート社会の実現に向けて～	アズビル 執行役員常務ビルシステムカンパニー マーケティング本部長	山本 清博 氏
			13:00～13:45	オフィスじゃなくても働ける時代のオフィスのあり方とは？	ココロ ワークスタイル研究所長	若原 強 氏
			15:00～15:45	ビジネスを加速するワークスペース	We Work Japan 上級副社長	佐藤 俊朗 氏
			施設コース			
基調講演	13日	10:00～11:30	進化する東京の街づくりと将来ビジョン			
			2040年代に向けた東京の都市づくり戦略	東京都 技監（都市整備局長兼務）森ビル 取締役常務執行役員	佐藤 伸朗 氏 河野 雄一郎 氏	
特別講演	11日	13:00～13:45	ホテル建替により国産唯一の5スターを獲得したパレスホテルの取組み	パレスホテル 常務取締役 パレスホテル 東京総支配人	渡部 勝 氏	
			15:00～15:45	失敗しない大規模改修工事	東急コミュニティー 常務執行役員 リフォーム事業部長	佐藤 潤 氏
	12日	13:00～13:45	本気でファッションを再考する新生渋谷PARCOプランニングについて	パルコ 常務執行役	泉水 隆 氏	
		15:00～15:45	大手町ビル／大規模リノベーション計画（100年ビルへの挑戦）	三菱地所 代表執行役 専務	千葉 太 氏	
	13日	15:00～15:45	木を生かす建築設計～最近の建築にみる木材利用～	日本建築士会連合会 会長	三井所 清典 氏	
			工務店支援コース			
セミナー	11日	13:00～13:45	社員が定着し成長する会社作り～業界の従業員満足度調査結果より～	LIXIL住生活ソリューション	白石 明彦 氏	
		14:30～15:15	人が集まる工務店はココが違う！中小企業の人財採用“成功”事例大公開！	船井総合研究所	大村 在龍 氏	
		16:00～16:45	コストと性能の見える化で必ず選ばれる高性能住宅の売り方・つくり方	夢・建築工房 代表取締役	岸野 浩太 氏	
	12日	11:30～12:15	情報を武器に変える！工務店が知るべき施策と制度	JBN・全国工務店協会 理事 情報調査室長	池田 浩和 氏	
		13:00～13:45	工務店が取り組むべき自然災害対策（地震・台風）	ステキ信頼リフォーム推進協会 事務局長	田淵 敦 氏	
		14:30～15:15	ZEH普及のためのポイントと効果的なZEH提案手法	ZEH推進協議会	布井 洋二 氏	
		16:00～16:45	上質なお客様が絶え間なくやってくる、小さな工務店の情報発信/ノウハウとマネーの話	オーガニックスタジオ新潟 代表取締役	相模 稔 氏	
	13日	11:30～12:15	いますぐ工務店経営者が行へべき施策～全国の成功例より～	コミュニティビルダー協会 代表	浄法寺 亘 氏	
		13:00～13:45	意匠CADの設計プロセスが招いた罠～なぜ耐震性の低い木造住宅が生まれるのか～	福井コンピュータアーキテクト	市原 照久 氏	
		14:30～15:15	デザイン力で勝つ～これからの時代を工務店が生き延びるために～	ハウス・ベース 代表取締役	植村 将志 氏	

※基調講演・特別講演・各セミナーは事前申し込みが必要。都合により講師・プログラムの内容が変更になる場合あり。専門セミナー情報はホームページへ。



外から450社、団体が出展する。

「AI・スマート住宅EXPO」はスマートスピーカー、遠隔操作システム、ホームセキュリティ、機器などの人工知能（AI）、IoTを活用したスマート住宅技術、太陽光発電や蓄電池などネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）に関連する製品・技術を紹介する。

経済産業省のエネルギー基本計画は地球温暖化対策として、2030年の新築住宅の平均で、家庭におけるエネルギー消費量を太陽光などの自家発電で相殺し、おおむねゼロにZEHのエネルギー効率化を図るV2Hに注目が集まる。

「AI・スマート住宅EXPO」はスマートスピーカー、遠隔操作システム、ホームセキュリティ、機器などの人工知能（AI）、IoTを活用したスマート住宅技術、太陽光発電や蓄電池などネット・ゼロ・エネルギーハウス（ZEH）に関連する製品・技術を紹介する。

経済産業省のエネルギー基本計画は地球温暖化対策として、2030年の新築住宅の平均で、家庭におけるエネルギー消費量を太陽光などの自家発電で相殺し、おおむねゼロにZEHのエネルギー効率化を図るV2Hに注目が集まる。

建築物 最新

するZ日住宅の普及を目標としている。その中でエネルギー消費などを可視化し、使用状況に応じて機器をコントロールするシステムとして家庭用エネルギー管理システム（HEMS）の導入が不可欠なる。

現在、電気自動車（EV）と太陽光発電を組み合わせたV2H（ビークルツーホーム）が注目されている。V2Hは双方向インフラリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）などのEVを家庭用電源とつなぐシステム。

日中の電力使用量のピーク時は車として利用し、電力料金が安くなる夜間に蓄電することが可能。また、EV向けの蓄電池は家庭用

「住宅・ビル・施設 省エネルギー機構理事 Week」は住宅コース、ビルコース、施設コース、工務店支援コースに分かれ、全45本のセミナーが実施される。基調講演、特別講演は受講無料、専門セミナーは有料（各講演1セミナーは事前申し込み制）。セミナー会場は青海展示棟内の1・5会場。各コースの基調講演は会場1で行う。

住宅コースでは11日9時40分から「新たな局面を迎えた住宅産業の将来展望」と題し、国土交通大臣官房審議官の淡野博久氏が「住宅・建築分野を巡る諸課題への対応」を基調講演。建築環境・と将来ビジョン」と題

12日10時からのビルコース基調講演「IoT化が進むスマートビルの最新動向」では大成建設執行役員技術センター長の長島 郎氏と日本マイクログフトコーポレート戦略統括本部業務執行役員の西脇寛哲氏が登壇する。

IoTや情報技術を活用したスマートビルディングの今後を展望す

施設コースの基調講演は13日10時から「進化する東京の街づくり」と題

建築物最新セミナー45本

セミナー45本

し、東京都技監・都市雄一郎氏が「森ビルの整備局長の佐藤伸朗氏が「2040年代に向けた東京の都市づくり戦略」を、森ビル取締役常務執行役員の河野門七ミナーを行って貴重

な機会。また、出張者による製品・技術情報発信するセミナーも多数行われる（参加希望者は当日会場で受け付ける）。同展示会の詳細は「住宅・ビル・施設Week」のホームページ（www.jiap-an-build.jp）へ。

ニチコン

11月からのF-T期間終了に向けたリユース
 ユンとして、ニチコンは基礎工事不要で4・1^リ
 の超小型軽量のものからフラッグシップモデル
 である業界最大容量の16・6^リまで幅広いライ
 ンアップを持つ家庭用蓄電システムのほか、EV
 ・PHV・FCVと家庭をつなぐ系統連系型V2
 Hシステムなどの中から最適な一台を提案する。
 小型軽量、低価格、設置工事不要、集合住宅や
 事務所、店舗にも手軽に導入できるポタブル蓄
 電システムや、EV・PHV・FCVから電気を
 取り出し可搬型給電器パワームーバーは、今年
 発行した千葉県の大規模停電時に被災地での復旧
 支援に貢献。節電だけでなく停電対策にも活用で
 ける。

第4回「住宅・ビル・施設Week」が11日から13日まで東京青海の東京ビッグサイト青海展示棟で開かれる。開場時間は10時から18時（最終日は17時）まで。入場料は無料（招待券持参者無料）。「AI・スマート住宅EXPO」「施設リノベーションEXPO」「高性能」建材・住設EXPO」「工務店支援EXPO」「スマートビルディングEXPO」の5展示会で構成する。主催はリードエグジビションジャパン。

最新技術・製品が集結

蓄電池より大容量、フル充電時、数日間の電力を家庭に供給することができ、そのため、停電時の電力源としても機能する。

11月から国の再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度（FIT）の終了を迎えはじめ、売電価格が安くなるため、家庭では充電ングE×P×O[®]はネット・ゼロ・エネルギービル（ZEB）やビル（ZEB）やビル（ZEB）管理システム（BEMS）のほか、ZEB要件に求められる発光ダイオード（LED）照明、空調機器などの製品・技術を紹介。入退管理システムや防犯管理システムなども展示する。

「高性能」建材・O[®]は全国の地域工務店が抱える技術・営業業務に関する課題を解決する製品・技術を紹介。営業向けのプレゼンテーションツールや工事写真のクラウド管理、デザイナーが設計した建物の3Dデータを活用し現実に再現可能なソリューションなどが集まっている。

タを仮想現実（VR）を活用し可視化できるソリューションなどが集まっている。

蓄電のニチコンなら、
「卒FIT」のカタチを選べます。

今ある太陽光発電に、蓄電システムをプラスする。

そんな賢いやり方が、2019年11月からの「FIT*終了」後の選択肢として注目を集めています。

そこでニチコンがご用意したのは、蓄電システムのフルラインアップ。

使い方にあわせて、蓄電容量4.1kWhから16.6kWhまでの中から最適な一台をお選びいただけます。

つくった電気は「売る」から「使い切る」時代へ。

必要な電気をムダなく活用するために、この幅広いラインアップが大きな力を発揮します。

蓄電システムを中心とした「電気と賢く暮らす」ためのライフスタイルを

トータルにデザインする“蓄電のプロフェッショナル”ニチコンからの提案です。

* 太陽光発電などで作られた電気の固定価格買取制度。

「いつも」の節電も、「もしも」の停電対策も。

ニチコン株式会社

〒604-0845 京都市中京区烏丸通御池上る

住宅・ビル・施設 Week2019
第2回
AI・スマート住宅 EXPO

当社出展ブース 1-4
皆様のご来場をお待ちしています

蓄電のニチコン

檢索



<https://www.nichicon.co.jp/>



蓄電のnichicon